

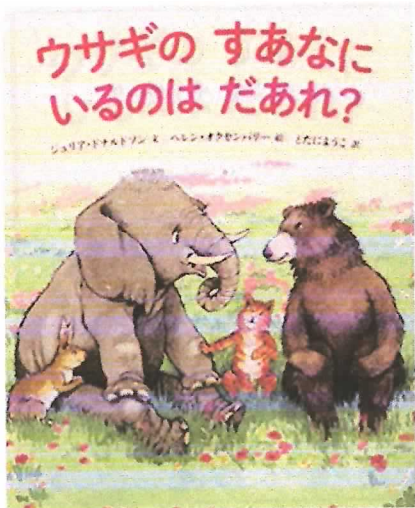
よんでネット*

春号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「ウサギのすあなに いるのはだあれ？」

ジュリア・ドナルドソン 文
ヘレン・オクセンバリー 絵
とたにようこ 訳



徳間書店【E・絵本のコーナー】

ある日ウサギがすあなにもどってくると、
中からこんなこえがした。

「おいらは はらぺこ ぴょんがぶりん。

ウサギのみみが だいこうぶつ。

ちょきんと きて、くっちゃうぞ。」

さあ、たいへん！はらぺこ ぴょんがぶりん を
おいだそうと、ネコやクマやゾウが つぎつぎ
やってきたけれど…。

はらぺこ ぴょんがぶりん は だれかしら？

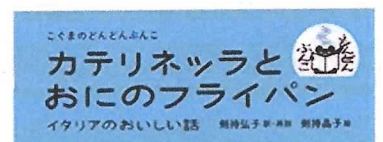
こぐまのどんどんぶんに

「カテリネッタと おにのフライパン」

イタリアのおいしい話

カテリネッタは、おにに フライパンをかりました。
おれいに、ドーナツをあげるやくそくをしたので、
10こ フライパンにいれ おにのいえに むかいま
した。ドーナツは、とてもいいにおい。
がまんできず ぜんぶ食べてしまいました。
こまったカテリネッタが みつけたのは、道に
おちていた ほかほかの 鶏のふん でした…。
イタリアのむかしばなしが 4つ はいっています。

けんもち ひろこ 訳・再話
剣持 弘子
けんもち あまこ 絵
剣持 晶子

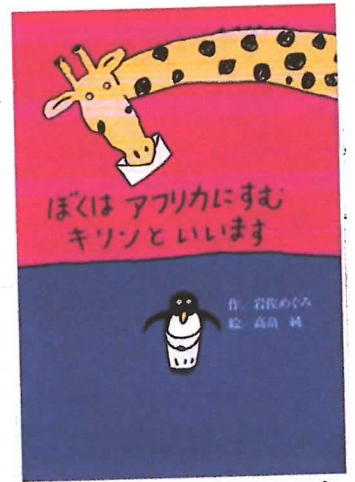


こぐま社【973ヶ】

「ぼくは アフリカにすむ キリンと います」

作 / 岩佐めぐみ 絵 / 高島純

アフリカの草原にすむキリンは、毎日とてもたいくつだったので、手紙を書くことにしました。ゆうびん配達のペリカンに「地平線のむこうで、さいしょにであつた動物にわたして」とたのみます。ペリカンは手紙をヒビけにとんでいきました。さて、キリンの手紙をうけたのはだれだったのでしょう。



偕成社(9131)

「虫のしわざ探偵団」

写真・文 新開孝



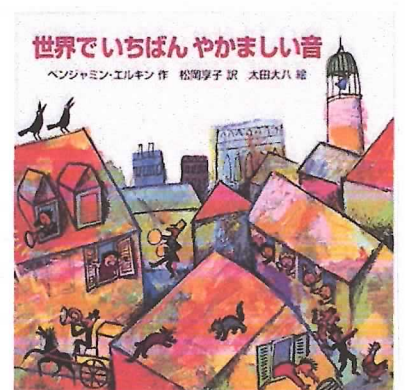
少年写真新聞社(48シ)

林や草原などで、「これ、何だろう?」と思うヘンなものに出会ったことはありませんか。きりぬかたもよう、葉、ばのうらの白い地図、葉、ばの巻物など、いろいろ。これは、全部「虫のしわざ」。さあ、みんな「虫のしわざ探偵団」の団員になつて、「しわざ」とそのヌシを探しに行こう!

「世界でいちばんやかましい音」

ベンジャミン・エルキン作
松岡享子訳 太田大八絵

これは世界でいちばんやかましいガヤガヤという都の話。♪カとびらをバタンとけ、とばせ ゆかをドシンとふみならせ♪中でも一番やかましいことが好きなのはギョオギョオ王子さま。王さまは、王子のたんじょう日に「世界でいちばんやかましい音」をおくるため世界中に同時にさけんでもらうようにたのみました。さて、それはいったいどんな音なのでしょう。



こくま社(933E)